

令和7年度 第4回 府中市市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 開催結果

- 日 時 令和7年12月22日（月） 午後1時15分から午後4時45分まで
- 会 場 府中市市民活動センター プラット 地域支援事務室 第2会議室
- 出席者 (委員) 五十嵐部会員、芝部会員、田中部会員代理
(オブザーバー) 中村協働・共創アドバイザー、大井市民協働推進部長、福嶋
協働共創推進課長
(事務局) 加瀬協働共創推進課主査、小堀主任、小池主任
- 欠席者 柴原部会長
- 傍聴者 なし（事業審査のため非公開）
- 議 事 令和7年度市民協働・共創促進事業の選定審査について

■会議内容

- 1 令和7年度市民協働・共創促進事業提案事業について、提案団体、市担当課による公開プレゼンテーションと質疑応答を行った。その後、提案のあった3事業について「市民協働・共創促進事業採択者審査基準」に基づき、各事業について意見交換と審査を行った。
- 2 「府中ソーシャルキッズラボ（子ども主体・社会貢献体験プログラム）」については、各部会員の審査の点数が6割を超え、かつ可否審査において「可」が過半数を超えたため、採択となった。

出席者の主な発言は、以下のとおりであった。

- ・プログラム実施者（大学生等）及び参加者（子ども）は、府中市民（在住・在学のほか、在勤や市内で活動する者の子どもなど）を優先するように配慮すること。
- ・アンケートの実施方法や効果測定に課題があるため、今後の事業の展望を見据えた検証データ等を取得し、事業終了後の報告会において報告すること。
- ・独自性が欠けているように感じたが、仮に実施期間が長い提案であれば、他のプログラムに活用できる可能性があり、発展的な視点での提案があるとさらに良かった。
- ・子どもをターゲットにした施策は好印象であり、明確性・必要性・インパクトはあると考える。
- ・事業内容の目新しさが乏しい点は課題であるが、子どもが様々な経験を積むことには意義がある。

- ・効果測定が図りづらい提案であるところが難点である。また、仮に、実施期間が長い提案であれば、府中市に特化した取組が可能であったと思われ、発展的な取組を仮定した側面、視点から提案があるとさらに良かった。

3 「平和都市宣言40周年に向けた 周知啓発の企画・提案」については、各部会員の審査の点数が6割を超え、かつ可否審査において「可」が過半数を超えたため、採択となった。

出席者の主な発言は、以下のとおりであった。

- ・本事業は成果を定量的に測定することが困難な事業であるため、作成した成果物（チラシ等の広報物ほか）を、どこに、どの程度配布したか（するか）などを成果として計測するとともに、事業終了後の報告会において報告すること。
- ・若年層を中心に多世代に対して平和への関心を高められるよう、市が本事業について世代に応じた周知など、効果的な広報を検討し、対応すること。
- ・あらかじめ広報物を作成することが大前提の提案となっており、内容に比べて費用が割高に感じられた。

4 「府中市特殊詐欺体験会」については、各部会員の審査の点数が6割を超え、かつ可否審査において「可」が過半数を超えたため、採択となった。

出席者の主な発言は、以下のとおりであった。

- ・無関心層を含む多様な主体が参加しやすい環境にするため、休日や夜間の開催等、体験会参加者の増加に向けた方策を講じること。
- ・事業実施後、事業報告会において、本事業の成果を踏まえた今後の府中市のビジョン（課題・対策・継続性）を明確に示すこと。
- ・警察が本来の主体であるため、提案内容が警察の取り組みと似通ることはやむを得ないが、警察とは異なる視点から、市役所ならではの視点を活かした施策を講じることも検討するとよかったです。
- ・「詐欺」に関する課題は全国的に取り組まなければならない課題であるが、課題と解決策との因果関係を結び付けるのが難しい。
- ・トライアルとしての実施は良いと考えるが、費用面が高いように見受けられる。費用対効果をあげるため、できるだけ参加者が多くなると良い。

5 その他 市民協働・共創促進事業に関する意見など

- ・市の課題と民間事業者からの提案内容とのマッチングが十分でないように感じる。準備期間も短いことから、市側のメッセージが適切に伝わっていない可能性があるため、事業実施前には内容を双方で十分に検討する場を設けることが望ましい。

6 選定結果

当会議が行った、令和7年度市民協働・共創促進事業選定結果については、次のとおりです。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定 結果	採択に当たっての意見・要望等
1	府中ソーシャル キッズラボ (子ども主体・社 会貢献体験プロ グラム)	CHEERS 株式会社	市民協働推進部 協働共創推進課	将来的な社会貢献活動の担い手の裾野を広げることを目的として、子どもの頃から社会貢献活動の体験に触れ、社会課題を自分ごととして捉えられるような実践機会やワークショップを開催する。 社会課題について、子どもが自ら考え、自分なりの課題解決策を発表し、実践する体験型ワークショップを実施するもの。	テーマ型	999,358円 (999,358円)	採択	・プログラム実施者（大学生等）及び参加者（子ども）は、府中市民（在住・在学のほか、在勤や市内で活動する者の子どもなど）を優先するように配慮すること。 ・アンケートの実施方法や効果測定に課題があるため、今後の事業の展望を見据えた検証データ等を取得し、事業終了後の報告会において報告すること。
2	平和都市宣言 40 周年に向けた周 知啓発の企画・提 案	NPO 法人アーティスト・コレクティブ・チュウ	市民協働推進部 協働共創推進課	令和8年度の平和都市宣言40周年に向けて、「平和のロゴ、広報物」を制作。市民が自分なりの身近な「平和」を感じ、考えるヒアリングを行い、平和を見つめ直す場を提供する。 ロゴマークは市民自身が「平和」について考え、手を加えることで完成するという従来にない柔軟な発想で平和を紡いでいく企画を展開する。	テーマ型	1,999,800円 (1,999,800円)	採択	・本事業は成果を定量的に測定することが困難な事業であるため、作成した成果物（チラシ等の広報物ほか）を、どこに、どの程度配布したか（するか）などを成果として計測とともに、事業終了後の報告会において報告すること。 ・若年層を中心に多世代に対して平和への関心を高められるよう、市が本事業について世代に応じた周知など、効果的な広報を検討し、対応すること。

No.	事業名	団体名	市担当課	実施内容	申請方法	総事業費 (委託料)	選定 結果	採択に当たっての意見・要望等
3	府中市 特殊詐欺体験会	株式会社 NTT DX パートナー	生活環境部 地域安全対策課	特許技術（シン・オートコール）を用いて、特殊詐欺体験会を3回実施する。 参加した市民は自身の携帯電話やスマートフォンに詐欺の電話やメッセージが届くことで、特殊詐欺の疑似体験ができると共に、体験会から得た警戒心は、友人、知人への情報共有を通じて波及効果が期待できる。	テーマ型	1,992,650 円 (1,992,650 円)	採択	・無関心層を含む多様な主体が参加しやすい環境にするため、休日や夜間の開催等、体験会参加者の増加に向けた方策を講じること。 ・事業実施後、事業報告会において、本事業の成果を踏まえた今後の府中市のビジョン（課題・対策・継続性）を明確に示すこと。

令和7年度市民協働・共創促進事業採点結果

評価項目			地域課題の明確性	共創の必要性	公益性・社会的インパクト	独自性	実現可能性	妥当性	合計点	割合	可否審査	
No	事業名	団体名	点数	点数	点数	点数	点数	点数			可/否	割合
1	府中ソーシャルキッズラボ (子ども主体・社会貢献体験プログラム)	C H E E R S 株式会社	2 7	2 7	2 7	2 6	2 5	2 5	1 5 7	8 7 %	可	100%
2	平和都市宣言40周年に向けた周知啓発の企画・提案	NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ	2 6	2 6	2 5	2 5	2 5	2 4	1 5 1	8 4 %	可	100%
3	府中市 特殊詐欺体験会	株式会社 NTT DX パートナー	2 3	2 4	2 3	2 4	2 2	2 2	1 3 8	7 7 %	可	66%